

令和 2 年度 住吉区総合防災訓練 実施結果報告

1 実施状況

(1) 訓練目的

区災害対策本部の初期初動体制の実効性について検証を行うとともに、新型コロナウイルス禍において、各地域が迅速かつ円滑な避難所の開設・運営が行えるように、避難所開設に重点を置いた訓練の実施により、行政と住民等の連携を強化し、地域の総合的な防災力の向上を図る。

(2) 実施日時

令和 2 年 11 月 14 日（土）9：00～12：00

(3) 実施場所

区内災害時避難所、住吉区役所、住吉区民センター、住吉消防署 他

(4) 参加者

合計 約 1,000 人（令和元年度：約 9,000 人、平成 30 年度：約 9,000 人）

<内訳>

地域活動協議会役員、地域防災リーダー等 約 600 人、
区役所職員 213 人、住吉区在住の大阪市職員（直近参集者）56 人、
その他関係機関 約 100 人

(5) 訓練内容

<区役所>

- ・住吉区災害対策本部の設置・運営訓練
- ・各災害時避難所への職員派遣
- ・応急救助訓練（職員）
- ・防災ディスカッション（職員）

<地域>

- ・地域災害対策本部／避難所運営委員会の設置・運営訓練

<その他>

- ・災害ボランティアセンターとの連携訓練
- ・福祉避難所・緊急入所施設との連携訓練

など

(6) 訓練イメージ (地域)



(7) 訓練協力関係機関

団体・企業名	連携・協力内容
大阪急性期・総合医療センター	●本部運営訓練 ●災害時クラウド型情報システム通信訓練
住吉区薬剤師会	●本部運営訓練 ●災害時クラウド型情報システム通信訓練
大阪市住吉区医師会	●災害時クラウド型情報システム通信訓練
住吉区歯科医師会	●災害時クラウド型情報システム通信訓練
住吉区内訪問看護ステーション	●本部運営訓練 ●災害時クラウド型情報システム通信訓練
福祉避難所・緊急入所施設	●無線通信訓練 ●災害時クラウド型情報システム通信訓練
住吉区社会福祉協議会	●災害ボランティアセンター設置・運営訓練 ●無線通信訓練
住吉消防署	●応急救助訓練(職員訓練)
社会福祉法人ライフサポート協会	●防災ディスカッション(職員訓練)

(8) 訓練の様子

災害時避難所



避難所入口に参集



参集者の検温



地域災害対策本部、避難所運営委員会の設置



区本部との無線通信訓練



一般避難者スペースの設え



療養者スペースの設え



防護服の着用



受付の設置



段ボールベッドの設置



簡易トイレの設置



コンパネベッドの設置



備蓄倉庫の確認

区災害対策本部



区役所 4 階大会議室に区災害対策本部を設置



地域本部、福祉避難所等との無線通信訓練



庶務班（情報収集）

- ・無線等で収集した被害状況や避難者数、避難所開設状況等を一覧に整理

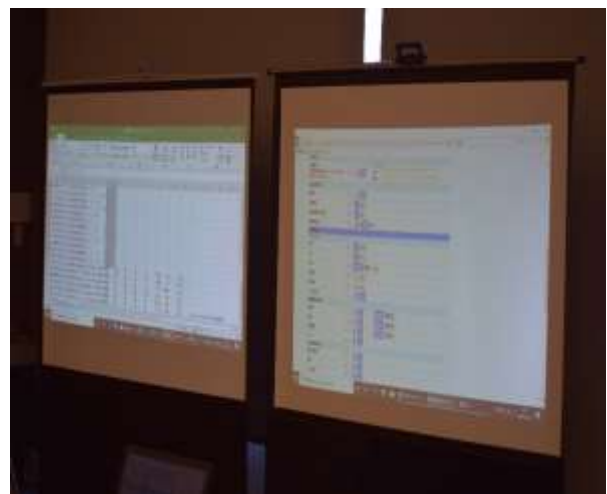


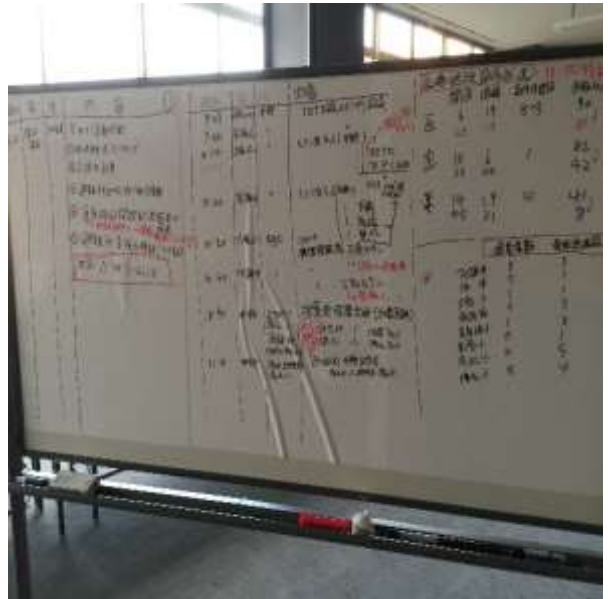
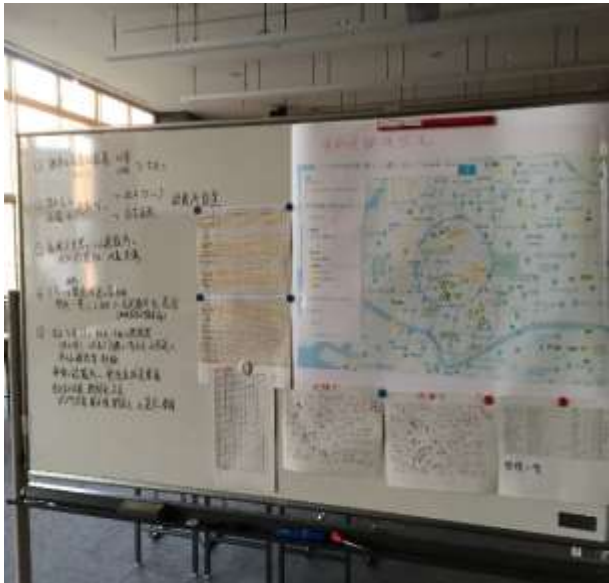
庶務班（広報）

- ・twitter で情報を発信



- ・ iisumi により、医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション、福祉避難所、災害時避難所の被害状況や受入可能情報等の収集
- ・ iisumi で収集した情報を EMIS に入力





iisumi により収集した情報について、

- ・各施設の被害状況を地図上に表示することにより可視化を実施（マッピング）
- ・各施設の避難者数や避難可能人数などを一覧で整理
- ・マッピングした情報をもとに、ライフラインや被害状況等の状況等を確認し、被害の大きい地域に対して物資の支援や救護所を設置するなどの検討を実施



収集した各情報に基づき、情報共有及び支援策等の検討を実施

2 アンケート集計結果（抜粋）

地域活動協議会役員、地域防災リーダー等からの回答

■回答者数：287人（アンケートは災害時避難所において記入、回収）

Q 1. 災害時避難所の開設、新型コロナ禍対策訓練はスムーズにおこなえましたか。

1. スムーズにおこなえた	76名
2. 概ねスムーズにおこなえた	163名
3. スムーズにはおこなえなかった	39名
未回答	9名

Q 2. 今後どんな訓練が必要だと思いますか。

1. 災害時避難所の開設・運営訓練	153名
2. 一時避難場所（町会災害対策本部）中心の訓練	99名
3. 水害時想定 of 避難訓練（水平避難・垂直避難）	99名
4. 応急手当訓練	90名
5. 安否確認訓練	81名
6. 搬送訓練（布担架、毛布担架、車イス等）	78名
7. 無線の通信訓練	76名
8. 救助資器材の確認や使用訓練（バールやジャッキなど）	58名
9. 消火訓練（可搬式ポンプやバケツリレーなど）	53名
10. その他	13名
・各班長等の運営研修	
・体の不自由な方への対応	
・在宅避難者や車中泊の対応訓練	
・津波避難者（住之江区からの）を想定した訓練	等

Q 3. 今回の訓練で良かった点や課題、改善すべき点。

【良かった点】

- ・参加メンバーが協力的で、落ち着いて行動できた。
- ・コロナの中、限られた人数で良くできたと思う。
- ・救護班の身支度等、実際にやって良かった。
- ・備蓄物資の種類と大まかな数量が確認できた。
- ・防災リーダーの指示が分かりやすく、町会ごとに決めてあったので動きやすかった。
- ・現実に即した実際に起こりうる状況を想定しての訓練だったと思う。
- ・療養者の動線確認が出来て良かった。
- ・今日の訓練で防災に関して再認識出来た点が良かった。
- ・現実におこった時のことを考えて、真剣に取り組むことができた。

- ・想定していたより、早く準備が出来た。何度もくり返さないといけないと思いました。
- ・同じ避難所の人と顔合わせやコミュニケーションが取れてよかった。
- ・防災リーダーの方々の意欲や責任感等意識の高さを認識することができた。
- ・療養スペース、段ボールベッド等、実際に設営体験できてよかったです。
- ・さまざまな課題を抽出できて良かった。

【課題・改善すべき点】

- ・今回は、小規模訓練であったので、なんとなく出来ていたようであるが、小学校の全施設のセッティングは出来るのかが不安。
- ・備蓄倉庫の整理 すぐに使用できるように改善すること。
- ・備蓄倉庫が狭すぎて取り出すのにかなり苦勞するため、もっと広い場所にしてほしい。
- ・感染予防対策が不十分だと感じた。
- ・訓練項目のさらなる掘り下げが必要
(ケガ人・障がい者・ペット・仮設トイレ・車避難等)
- ・ペットの避難場所は、早めに決めておいた方がいいと思います。
- ・各班のマニュアルは、区役所・図書館など閲覧できれば良いと思う。
(災害時にマニュアルを冷静に見れないことがあるから)
- ・各班のリーダー養成が必要だと思う。
- ・鍵をもっと分かりやすくしてほしい。
- ・訓練時はよくわかる事が多いのですが忘れがちになるため、これからも定期的に訓練が必要だと思います。
- ・訓練をもっと暖かい時期にしてほしい。
- ・あらゆる時間帯で対応できるようにすることが必要だと思う。
- ・今回は仕方がないが、やはりもっと多くの人数に参加していただくことが必要だと思う。
- ・事前の模擬訓練をもっと実施した方が良いと思う。
- ・部屋ごとの定員をある程度表示していた方が良いと思う。
- ・ひとりあたりの避難スペースが広がった関係で、避難者を収容できるか不安である。

3 訓練での主な意見・課題に対する対応

	主な意見・課題等	対 応
1	<p>■災害時避難所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄倉庫が狭く、物資が取り出しづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染拡大防止対策にかかる物資を新たに多数配備した関係により、各避難所において備蓄場所が足りなくなっている。 ・地域や施設管理者と引き続き調整の上、備蓄場所の確保に努める。
2	<p>■災害時避難所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人当たりのスペースが4㎡となったことにより避難場所が足りない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き施設管理者と調整を行い、新たな避難場所の確保に努める。 ・また、自宅等が安全な方については自宅等で避難していただくよう、在宅避難の推奨を行う。
3	<p>■災害時避難所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前の模擬訓練をもっと実施してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新型コロナ感染拡大の影響により最低限の実施となった。 次年度についても状況を注視しながら具体的な実施方法等を検討していく。
4	<p>■災害時避難所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットの保管場所について検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度見直した、「避難所開設マニュアル」を精査し、地域や学校と連携しながら引き続き見直しを行う。
5	<p>■災害時避難所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄物資について、さまざまな物資が必要になると思うので引き続き予算措置をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や防災専門会議等の意見をいただきながら、引き続き必要物資の検討や予算措置を行う。

	主な意見・課題等	対 応
6	<p>■組織について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割分担が訓練当日に指名されるため、災害時はどう動くか前もって役割を決めておくべきだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所運営委員会の組織（役割名簿）について未設定の地域に対して、あらかじめ作成していただくよう改めて周知する。
7	<p>■取り組みたい訓練等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水害時を想定した訓練 ・津波避難訓練 ・A E Dの使用訓練 ・応急手当訓練 ・消火訓練 ・無線通信訓練 ・車いすによる搬送訓練 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・水害を想定した訓練については、学校及び地域役員と連携し実施する。 ・津波の被害想定について区民に正しく理解してもらえるよう周知する。 ・住吉区総合防災訓練で実施可能なものはできるだけ実施し、実施できないものは地域・町会毎の訓練のなかで実施できるよう支援する。